

2022年7月吉日

## シンポジウム「多様化する構造デザイン」開催のお知らせ

日本構造家倶楽部

「多様化する構造デザイン」編集委員会委員長

金田勝徳

皆様

この度、日本構造家倶楽部では1990年から2020年に至る30年間における建築構造界の潮流を記録に残し、次代のさらなる発展に資することを目的として、「多様化する構造デザインー未来へと繋ぐ平成時代の軌跡ー」を(株)建築技術より刊行いたしました。これを機に皆様と共に、現代の構造デザインに想いを巡らせるシンポジウムを下記の通り企画しました。たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日時：8月4日(木) 16:00~19:00 受付開始 15:30

2. 会場：日本大学工学部駿河台校舎 タワースコラ1階

3. 参加費

一般：1,000円 学生：500円

4. 参加申込先

<https://ws.formzu.net/dist/S274164684/>

5. プログラム

### 5-1. 開会(司会：与那嶺仁志)

16:00 開会あいさつ 与那嶺仁志(5分)

16:05 はじめに 金田勝徳(5分)

16:10 基調講演 斎藤公男(15分)

16:25 書籍の構成 竹内徹(10分)

### 5-2. 平成時代の構造デザイン(進行：金田充弘)

16:35 平成時代の構造デザイン 前半(6名×9分+予備6分=60分)

1) スーパーラクチャーから制振・免震構造へ移行した超高層(原田公明)

2) 地震応答制御によって生まれる多彩な建築(山脇克彦)

3) 時代の要請に応える既存建築の耐震改修と利活用(満田衛資)

4) 時代の要請に後押しされて華やいだ大空間構造とスタジアム(細澤治)

5) 多様な合理性を展開したハイブリッドテンション構造(宮里直也)

6) 空間の多様性を演出する膜構造(大野博史・萩生田秀之)

17:35 休憩(10分)

17 : 45 平成時代の構造デザイン 後半 (5名×9分+予備5分=50分)

7) 単純な幾何学形態から脱却したRCシェル構造 (浜田英明)

8) RC・PCの新たな造形と空間表現 (早稲倉章悟)

9) 多様な鋼材の応用によって高まる薄さ・軽さ・透明感 (多田脩二)

10) 材料特性の活用と社会の要請から生まれたハイブリッドな構造 (伊藤潤一郎)

11) 大規模から中規模への木造建築の領域の拡大と木質材料・接合部の多様化 (山田憲明)

#### **4-3. まとめ**

18 : 35 対談 佐々木睦朗×佐藤淳 (15分)

18 : 50 総括 金箱温春 (5分)

18 : 55 閉会